

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1582 号	氏名	小河原 格也
学位審査委員		主査	岩永 竜一郎
		副査	佐藤 克也
		副査	神津 玲
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、実動作課題実施時と模擬動作課題における運動関連脳電位を比較し、生態学的観点から、実際の動きを伴う際の運動前の脳活動の特徴をとらえようとした研究である。本研究の目的は、運動遂行の問題がある脳機能障害患者へのリハビリテーションを検討する上でも有用と言える。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>実験対象は、研究内容を考慮して的確に選定されていた。</p> <p>実験時の課題は運動関連脳電位の誘発しやすさを考慮して設定されていた。</p> <p>課題における運動実行の影響、繰り返しの影響をとらえるために課題順序のカウンターバランスを取ったり、課題の前後半で比較できるように課題数を設定したりするなど、研究目的に沿った設定がなされていた。研究手法は的確であった。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>運動関連能電位の測定、分析は、先行研究に基づいて、的確になされていた。解析の方法は妥当であった。</p> <p>解析の結果、実動作課題の時の方が、模擬動作課題よりも運動関連能電位の振幅が大きく、実動作課題の前後半でその振幅に差があったことが明らかになり、課題の生態学的妥当性が示された。</p> <p>本研究は、今後のリハビリテーションの発展に重要な示唆を与える結果を提示しているものであると考えられる。</p> <p>以上のように本論文は脳機能障害がある患者へのリハビリテーションの研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			